平成25年２月期　第２四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年９月28日

上 場 会 社 名　　株式会社メディカル一光　　上場取引所　大
コ ー ド 番 号　　3353　　URL http://www.m-ikkou.co.jp/
代　　表　　者　(役職名)代表取締役社長　　(氏名)南野 利久
問合せ先責任者　(役職名)代表取締役副社長　　(氏名)西井 文平　　(TEL)059-226-1193

四半期報告書提出予定日　　平成24年10月12日　　配当支払開始予定日　　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　　：　有(機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

１．平成25年２月期第２四半期の連結業績（平成24年３月１日～平成24年８月31日）

（１）連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年２月期第２四半期	10,183	5.8	576	△3.6	546	△4.3	558	46.4
24年２月期第２四半期	9,621	7.9	597	30.7	570	32.9	381	55.4

（注）　包括利益　　25年２月期第２四半期　　630百万円(92.2%)　　24年２月期第２四半期　　328百万円(―%)

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年２月期第２四半期	291 73	―
24年２月期第２四半期	199 77	―

（注）　当社は、平成24年６月１日付で普通株式１株につき100株の割合で株式分割を行っており、当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定して、１株当たり四半期純利益を算定しております。

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年２月期第２四半期	15,326	4,804	31.3
24年２月期	14,810	4,269	28.8

（参考）　自己資本　　25年２月期第２四半期　4,804百万円　　24年２月期　4,269百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年２月期	―	0 00	―	5,000 00	5,000 00
25年２月期	―	0 00			
25年２月期(予想)			―	50 00	50 00

（注）　直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無
当社は、平成24年６月１日付で普通株式１株につき100株の割合で株式分割を行いました。平成24年２月期の配当金につきましては、当該株式分割前の数値で記載しております。

３．平成25年２月期の連結業績予想（平成24年３月１日～平成25年２月28日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,270	3.5	940	△22.6	860	△25.3	640	2.6	334 01

（注）　直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無
当社は、平成24年６月１日付で普通株式１株につき100株の割合で株式分割を行っており、当該株式分割が期首に行われたと仮定して、１株当たり当期純利益を算定しております。

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動　　：　無

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：　無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　有

②　①以外の会計方針の変更　　：　無

③　会計上の見積りの変更　　：　無

④　修正再表示　　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年２月期２Ｑ	2,035,000株	24年２月期	2,035,000株
②　期末自己株式数	25年２月期２Ｑ	118,900株	24年２月期	118,900株
③　期中平均株式数（四半期累計）	25年２月期２Ｑ	1,916,100株	24年２月期２Ｑ	1,911,492株

（注）　当社は、平成24年６月１日付で普通株式１株につき100株の割合で株式分割を行っており、当該株式分割の影響を考慮し、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報(注記事項)に関する事項 …… 4
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 4
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 4
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 4
３．四半期連結財務諸表 …… 5
（１）四半期連結貸借対照表 …… 5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 7
四半期連結損益計算書 …… 7
四半期連結包括利益計算書 …… 8
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 9
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 11
（５）セグメント情報等 …… 11
（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 11
（７）重要な後発事象 …… 11

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間におけるわが国経済は、復興関連需要や経済政策による景気回復の動きが見られたものの、雇用環境は依然厳しく世界的な景気減速や円高の常態化などの景気下振れリスクが内在する先行き不透明な状態で推移しました。

調剤薬局業界及び介護業界におきましては、平成24年４月１日に調剤報酬改定・薬価改定・介護報酬改定が同時に実施され、薬価は6.25%の引下げ、介護報酬は1.2%の引上げとなりました。

このような環境下、当社グループは調剤薬局事業及びヘルスケア事業におけるＭ＆Ａの実施や投資子会社の設立により、グループ子会社10社体制にて事業規模拡大に取り組んでまいりました。

当第２四半期連結累計期間の業績につきましては、主力とする調剤薬局事業が薬価改定等の影響を受けましたが、ヘルスケア事業及び医薬品卸事業の業績が寄与し、売上高は10,183百万円(前年同期比5.8%増)となりました。一方、営業利益は576百万円(同3.6%減)、経常利益は546百万円(同4.3%減)となりました。四半期純利益につきましては、有価証券売却益を特別利益に計上したため558百万円(同46.4%増)の増益となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

(調剤薬局事業)

調剤薬局事業におきましては、薬価引下げ等の影響を受けましたが、処方箋の長期化により処方箋単価が前年を上回ったため既存店の売上高は微増となりました。新規出店につきましては、６月にフラワー薬局柘植店(三重県)、７月にフラワー薬局くにじま店(大阪府)を開局しました。加えて、８月に子会社である株式会社メディケアサポートが愛知県の２店舗を取得し、当社グループの店舗数は82店舗となりました。その結果、売上高9,172百万円(前年同期比3.8%増)、営業利益682百万円(同10.2%減)となりました。

(ヘルスケア事業)

ヘルスケア事業におきましては、介護付有料老人ホーム等６施設の入居率が増加したこと及び今年３月に取得した訪問介護事業会社の業績が寄与したことにより、売上高は577百万円(前年同期比37.9%増)、営業利益は82百万円(同318.1%増)となりました。

(医薬品卸事業)

医薬品卸事業におきましては、厚生労働省によるジェネリック医薬品使用促進策のもと、積極的な営業を展開したことにより、売上高は396百万円(前年同期比20.3%増)、営業利益は42百万円(同176.6%増)となりました。（内部売上高を含む売上高は582百万円となり前年同期比23.6%増）

(不動産事業)

不動産事業におきましては、不動産の賃貸業務により安定した収益を確保しております。不動産事業の売上高は37百万円(前年同期比1.8%減)、営業利益は20百万円(同5.1%増)となりました。

なお、セグメント間の内部売上高として187百万円を消去するとともに、全社における共通経費として251百万円を計上しております。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

当第２四半期連結会計期間末における総資産は15,326百万円となり、前連結会計年度末と比較して516百万円増加いたしました。

流動資産の合計は7,134百万円となり、前連結会計年度末と比較して1,783百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金の増加1,538百万円によるものです。

固定資産の合計は8,192百万円となり、前連結会計年度末と比較して1,266百万円減少いたしました。これは主に、投資有価証券の減少1,622百万円によるものです。

負債合計は10,522百万円となり、前連結会計年度末と比較して18百万円減少いたしました。これは主に、買掛金の増加186百万円、長期借入金（１年内返済予定を含む）の増加143百万円、短期借入金の減少600百万円によるものです。

純資産合計は4,804百万円となり、前連結会計年度末と比較して535百万円増加いたしました。これは主に、四半期純利益558百万円によるものです。

② キャッシュ・フローの状況

当第２四半期連結累計期間末における現金及び現金同現物（以下、「資金」という。）は3,724百万円となり、前連結会計年度末と比較して1,538百万円増加いたしました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、378百万円（前年同期比117百万円の減少）となりました。これは、主に税金等調整前四半期純利益997百万円、仕入債務の増加185百万円、減価償却費155百万円があったものの、投資有価証券売却益451百万円、売上債権の増加101百万円、法人税等の支払343百万円があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果得られた資金は、1,715百万円（前年同期は518百万円の支出）となりました。これは、主に投資有価証券の売却による収入2,747百万円があったものの、投資有価証券の取得による支出557百万円、有形固定資産の取得による支出361百万円があったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果支出した資金は、555百万円（前年同期は272百万円の収入）となりました。これは、主に長期借入金の純増加143百万円、短期借入金の返済による支出600百万円があったことによるものであります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成25年２月期の業績予想につきましては、平成24年４月５日公表の数値から変更はありません。

なお、今後の経営環境等の変化により見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

第１四半期連結会計期間より、「１株当たり当期純利益に関する会計基準」（企業会計基準第２号 平成22年６月30日）、「１株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第４号　平成22年６月30日公表分）及び「１株当たり当期純利益に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第９号　平成22年６月30日）を適用しております。

当社は、平成24年６月１日付で普通株式１株につき100株の割合で株式分割を行いましたが、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、１株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後１株当たり四半期純利益金額を算定しております。

これらの会計基準等を適用しなかった場合の、前第２四半期連結累計期間の１株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後１株当たり四半期純利益金額は以下のとおりであります。

１株当たり四半期純利益金額	19,977円06銭
潜在株式調整後１株当たり四半期純利益金額	―

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年２月29日）	当第２四半期連結会計期間 （平成24年８月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,185,811	3,724,089
売掛金	2,184,945	2,308,500
商品	798,055	883,752
その他	183,226	219,204
貸倒引当金	△1,300	△1,300
流動資産合計	5,350,738	7,134,246
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,920,673	2,860,620
土地	1,636,848	1,636,848
その他（純額）	203,309	583,989
有形固定資産合計	4,760,832	5,081,458
無形固定資産		
のれん	952,123	1,012,416
その他	160,349	166,635
無形固定資産合計	1,112,472	1,179,052
投資その他の資産		
投資有価証券	2,498,239	876,052
敷金及び保証金	457,275	456,782
その他	630,467	599,244
投資その他の資産合計	3,585,982	1,932,079
固定資産合計	9,459,287	8,192,591
資産合計	14,810,026	15,326,837
負債の部		
流動負債		
支払手形	6,442	5,826
買掛金	2,674,812	2,861,341
短期借入金	600,000	－
1年内返済予定の長期借入金	2,036,066	2,059,782
未払法人税等	349,226	443,206
賞与引当金	110,759	127,041
その他	348,324	479,241
流動負債合計	6,125,631	5,976,440
固定負債		
長期借入金	3,904,614	4,024,257
退職給付引当金	310,831	322,826
その他	199,496	198,668
固定負債合計	4,414,942	4,545,753
負債合計	10,540,573	10,522,193

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年２月29日）	当第２四半期連結会計期間 （平成24年８月31日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	917,000	917,000
資本剰余金	837,050	837,050
利益剰余金	2,706,343	3,169,526
自己株式	△199,265	△199,265
株主資本合計	4,261,128	4,724,311
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,324	80,333
その他の包括利益累計額合計	8,324	80,333
純資産合計	4,269,452	4,804,644
負債純資産合計	14,810,026	15,326,837

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成23年３月１日 至 平成23年８月31日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成24年３月１日 至 平成24年８月31日）
売上高	9,621,130	10,183,805
売上原価	8,510,002	9,024,444
売上総利益	1,111,128	1,159,360
販売費及び一般管理費	513,270	583,274
営業利益	597,857	576,086
営業外収益		
受取利息	532	481
受取配当金	6,950	10,073
助成金収入	6,136	2,182
その他	3,443	4,700
営業外収益合計	17,064	17,437
営業外費用		
支払利息	38,579	39,205
その他	5,491	7,770
営業外費用合計	44,071	46,975
経常利益	570,850	546,548
特別利益		
固定資産売却益	21,352	－
投資有価証券売却益	120,112	451,433
貸倒引当金戻入額	100	－
その他	－	9,231
特別利益合計	141,564	460,664
特別損失		
固定資産除却損	754	9,601
賃貸借契約解約損	－	431
保険解約損	1,815	－
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	13,301	－
特別損失合計	15,871	10,033
税金等調整前四半期純利益	696,544	997,179
法人税、住民税及び事業税	336,382	444,190
法人税等調整額	△21,698	△5,999
法人税等合計	314,684	438,191
少数株主損益調整前四半期純利益	381,860	558,987
四半期純利益	381,860	558,987

四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成23年３月１日 至 平成23年８月31日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成24年３月１日 至 平成24年８月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	381,860	558,987
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△53,475	72,009
その他の包括利益合計	△53,475	72,009
四半期包括利益	328,384	630,996
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	328,384	630,996

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成23年３月１日 至 平成23年８月31日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成24年３月１日 至 平成24年８月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	696,544	997,179
減価償却費	140,390	155,651
のれん償却額	41,087	48,577
賞与引当金の増減額（△は減少）	16,621	14,532
退職給付引当金の増減額（△は減少）	15,023	11,995
受取利息及び受取配当金	△7,483	△10,555
支払利息	38,579	39,205
投資有価証券売却損益（△は益）	△120,112	△451,433
固定資産売却損益（△は益）	△21,352	－
固定資産除却損	754	9,601
売上債権の増減額（△は増加）	△174,973	△101,671
たな卸資産の増減額（△は増加）	△22,594	△73,529
仕入債務の増減額（△は減少）	212,099	185,913
その他	△40,644	△76,713
小計	773,940	748,753
利息及び配当金の受取額	7,183	10,403
利息の支払額	△38,057	△37,464
法人税等の支払額	△247,840	△343,350
営業活動によるキャッシュ・フロー	495,226	378,341
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△235,964	△361,330
有形固定資産の売却による収入	205,168	－
無形固定資産の取得による支出	△77,373	△14,490
投資有価証券の取得による支出	△594,250	△557,094
投資有価証券の売却による収入	160,836	2,747,357
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	－	△80,421
事業譲受による支出	－	△35,502
長期前払費用の取得による支出	△1,452	△1,430
差入保証金の差入による支出	△1,532	△1,715
差入保証金の回収による収入	56,476	5,020
長期未収入金の増加による支出	△358	－
長期未収入金の回収による収入	10,000	－
預り金の増減額（△は減少）	△31,260	14,638
その他	△9,252	809
投資活動によるキャッシュ・フロー	△518,963	1,715,840

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成23年３月１日 至 平成23年８月31日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成24年３月１日 至 平成24年８月31日）
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	－	△600,000
長期借入れによる収入	1,050,000	900,000
長期借入金の返済による支出	△709,564	△756,640
リース債務の返済による支出	△1,870	△3,458
自己株式の処分による収入	10,368	－
配当金の支払額	△76,428	△95,805
財務活動によるキャッシュ・フロー	272,505	△555,903
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	248,768	1,538,277
現金及び現金同等物の期首残高	2,326,744	2,185,811
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,575,512	3,724,089

（４）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（５）セグメント情報等

Ⅰ　前第２四半期連結累計期間(自　平成23年３月１日　至　平成23年８月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額(注)１	四半期連結損益計算書計上額(注)２
	調剤薬局事業	ヘルスケア事業	医薬品卸事業	不動産事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	8,835,064	418,545	329,450	38,070	9,621,130	―	9,621,130
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,303	182	141,708	―	143,194	△143,194	―
計	8,836,367	418,728	471,158	38,070	9,764,325	△143,194	9,621,130
セグメント利益	759,973	19,798	15,228	19,450	814,450	△216,592	597,857

（注）１　セグメント利益の調整額△216,592千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用220,156千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

２　セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ　当第２四半期連結累計期間(自　平成24年３月１日　至　平成24年８月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額(注)１	四半期連結損益計算書計上額(注)２
	調剤薬局事業	ヘルスケア事業	医薬品卸事業	不動産事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	9,172,869	577,229	396,321	37,384	10,183,805	―	10,183,805
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,435	182	185,994	―	187,612	△187,612	―
計	9,174,305	577,411	582,315	37,384	10,371,417	△187,612	10,183,805
セグメント利益	682,335	82,781	42,123	20,441	827,682	△251,447	576,234

（注）１　セグメント利益の調整額△251,447千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用254,120千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

２　セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

（７）重要な後発事象

該当事項はありません。